

令和7年度さぬき市地域包括支援センター運営協議会 会議要旨（要約）

- 1 会議日時 令和8年2月13日（金） 14:00～15:00
- 2 会議場所 さぬき市寒川庁舎 多目的ホール
- 3 出席者 [委員] 為國真理・小山沙織・名出美紀・日向晴美・近江照博・西田正己・佐藤安恵・太田理・防越一美・壺井邦子・白河原将・平野通・中川勝幸  
[事務局] 高西恵・藤田宏江・神野さつき・笹田美由紀・白井博子・高橋真理恵・和田英幹・飯原由布子・廣瀬亜里紗・桑原綾子  
[傍聴人] なし
- 4 議題 (1) 令和7年度運営状況について  
(2) 令和8年度運営計画（案）について  
(3) 意見交換・介護予防について
- 5 資料 別紙のとおり

## 6 会議要旨

発言者	意見概要等
(事務局)	<p>それでは時間になりましたので只今より、令和7年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を開会します。</p> <p>さぬき市地域包括支援センター運営協議会は、当センターの適切な運営、公正・中立性の確保、その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため設置しています。それでは、開会にあたりまして、白河原会長より御挨拶をお願いします。</p> <p>(会長挨拶)</p> <p>ありがとうございました。議事に先立ちまして、委員及び事務局職員の紹介に移ります。</p> <p>(自己紹介)</p>
(事務局)	<p>それでは議事に入ります。運営協議会の会議は、さぬき市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条の2の規定により、過半数以上の委員の方の御出席がございますので、成立していることを御報告いたします。</p> <p>設置要綱第5条の1の規定により、会長が会議の議長とされておりますので、以降の進行については、会長をお願いします。</p>
(議長)	<p>それでは、次第に基づき議事を進めてまいります。</p> <p>議題の1「令和7年度地域包括支援センターの運営報告について」資料の2ページから36ページまで、事務局から御説明いただき、その後に、皆さまから質問や意見をいただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは事務局の説明を求めます。</p> <p>(事務局説明)</p>
(議長)	<p>事務局の説明が終わりました。御意見がありましたらお願いします。</p>
(委員)	<p>認知症総合支援事業について、認知症初期集中支援推進事業の訪問及び会議の件数と、認知症地域支援・ケア向上事業の個別相談件数に差がありますが、何か連携を取られているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>認知症に関する個別件数・対応件数は増えております。連携はとっており、相談の中で、特に専門的な医師の下、対応を検討する必要がある場合に初期集中支援チームを発動しております。そのように、対象となる事例が今年度は1件ということになります。</p>
(委員)	<p>地域介護予防活動支援事業の方で、リハビリテーション専門職等の派遣</p>

<p>( 事 務 局 )</p>	<p>を開始したということですが、どのような形で実施されていますか。</p> <p>高松協同病院の理学療法士を講師にお呼びしています。病院と協議をしたうえで、個人として来ていただいています。年休を取られ、講師料として支払をしています。</p>
<p>( 委 員 )</p>	<p>「ケアプラン作成指導を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの指導」を通して、ケアマネジャーの変化や、指導による改善等ありましたか。また、介護給付等費用適正化事業の個別ヒアリングについて、ケアプラン点検で共通するような課題や傾向はありますか。</p>
<p>( 事 務 局 )</p>	<p>口頭では伝わりにくいケアプランチェックについて、マニュアルという指標を用いて指導をさせていただいております。提出書類が整うようになった、経験の浅いケアマネジャーや市外の事業所等からの個別相談時に説明しやすい等の変化がありました。</p> <p>ケアプラン点検については、居宅介護支援事業所が対象で、保険者を通じて助言をいただきました。指摘を受けたところについては、マニュアルに組み込む、ケアマネジャーの連絡会で共有等の対応をしています。</p>
<p>( 議 長 )</p>	<p>他に御意見がないようですので、次に移ります。</p> <p>議題の2「令和8年度地域包括支援センターの運営計画について」資料の37ページから48ページまで、事務局から御説明いただき、その後、皆さまから質問や意見をいただきますので、よろしく願います。</p> <p>それでは事務局の説明を求めます。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>事務局の説明が終わりました。御意見がありましたらお願いします。</p>
<p>( 委 員 )</p>	<p>冒頭に、からくり教室を終了したことで、ケアマネジメント件数が増加しているとの説明がありましたが、何か対策はされていますか。</p>
<p>( 事 務 局 )</p>	<p>当教室が終了したことで、移動手段がない方等通所サービスの利用が増加しケアマネジメント件数が増加したと考えています。職員の人員確保を要望しているところですが、財政的に難しい状況もあります。業務の効率化も検討しつつ、委託での対応も含めて、引き続き体制の確保に取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>( 議 長 )</p>	<p>他に御意見がないようですので、議題3の「意見交換・介護予防について」事務局から議題の提出がありますので、進行を事務局に戻します。</p> <p>(事務局説明)</p>

( 委 員 )	ふれあいサロンの方では、次の世話役の担い手がない、男性の参加者が少ない、移動手段等の課題があります。
( 委 員 )	担い手を繋いでいくというのは課題であるように感じます。活動では、独居男性の参加が難しい現状がある。介護認定を受ける前段階の方は、人の役に立ち、なおかつ報酬が入るような活動があれば良いと思います。
( 委 員 )	からくり教室を楽しみにされている患者の方がおられたので、様々な活動があると分かり安心しております。移動手段に課題がある方について、どのようにされているのでしょうか。
( 事 務 局 )	歩いて来られるような地域の会場を利用しています。拠点数が増えることによる事務の負担もあります。
( 委 員 )	移動手段がなくなった方や、歩行能力が落ちていく方にとって、歩いて行ける地域の場所での活動は、大きな励みになると思います。
( 委 員 )	認知症の方について、いかに初期の段階で関わっていただけるか気になっています。施設の数には限りがあるので、いかに家で元気に過ごせるかが大切だと思っています。施設には多様な職種の職員がいるので、派遣を依頼していただいて、地域に関わっていただけると思います。
( 委 員 )	高齢独居の認知症の方で、サービスの利用もない方について、近所の方が気にかけて、保健福祉事務所に繋がってくる方が、年に何件かいらして、気になっています。何かしら、地域で繋がっていただくことが大切だと思います。誰の目も届かない高齢者の方をなくすように、様々な手段を考えていただいていると感じました。小学生の認知症サポーター養成講座をされているが、子供の力が、高齢者に良い作用があると思います。小学校と共同して、地域の高齢者と交流するような取り組みがあれば良いのではないかと思います。
( 事 務 局 )	介護予防サポーターの取り組みとして、モルックを通しての交流や、認知症サポーター養成講座を受けた小学生が施設の高齢者と交流しております。このような取り組みを続けていきたいと思っています。
( 委 員 )	県歯科医師会では、フレイルの前段階、オーラルフレイルチェックをしています。どこかでこのような活動を知っていただければ、より早期に、御自身で健康状況に気づき、元気になっていただけると思います。
( 委 員 )	認知症の前段階より、さらに前の段階で認識を持つ必要があると思います。しかし、元気な方が、御自身が認知症になった時のことは想像しにくい傾向にあります。40代から50代、親の健康を考える年代の方に、ご自分の認知症も含めた健康や介護への認識を持つ機会があればと思いま

<p>( 事 務 局 )</p>	<p>す。</p> <p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。いただいた意見を参考に、課題を整理しつつ、介護予防の取り組みを進めていきたいと思いを</p>
<p>( 議 長 )</p>	<p>以上で、本日の議事を終了したいと思います。御協力ありがとうございました。それでは進行は、事務局にお返しします。</p>
<p>( 事 務 局 )</p>	<p>御協議ありがとうございました。</p> <p>今回、他に御意見等ありましたら、後日でも構いませんので、当センターに御報告いただければと思います。次回の運営協議会は、令和8年8月頃の開催を予定しています。また、その際に御案内をさせていただきますのでよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和7年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を閉会します。ありがとうございました。</p>